

令和5年度モニタリングシート

【施設名等】

施設名	大洲家族旅行村 オートキャンプ場	位置	大洲市菅田町大竹乙 938-1
指定管理者名	株式会社おおず家族村	所管課	大洲市役所 観光まちづくり課 Tel.0893-24-1717

【施設の概要】

設置年月日	平成2年4月1日	構造	木造平屋建ほか公園施設
設置目的	恵まれた自然環境の中で、家族や小グループが楽しめる観光レクリエーションの場を確保し、もって健康及び福祉の増進と地域振興に資する。		
施設機能	<p>オートキャンプ場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプサイト 16サイト(うち電源付き2サイト)</li> <li>・コテージ 2棟(6人用)、2棟(8人用)</li> <li>・管理舎 ・炊事棟 ・便所 ・帯施設 車路、バーベキュー施設、倉庫等</li> </ul> <p>ピクニック緑地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スロープガーデン ・じゃぶじゃぶ池 ・ファミリー園地</li> <li>・ファミリーガーデン(果樹園、園路、東屋2基)</li> <li>・見晴らし広場 ・ちびっ子広場</li> <li>・管理棟(事務所、便所、休憩室、機械室)</li> </ul>		
利用料金等	テントサイト1サイト 2,200円 コテージ 6人用 11,000円～ コテージ 8人用 13,200円～ その他レンタル用品、販売品など		
開館・閉館	営業時間 8:30～17:00 ただし利用者のいる場合は 24 時間常駐		
指定管理業務内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 施設の管理運営に関すること</li> <li>(2) 施設及び設備並びに備品の維持管理に関すること</li> <li>(3) 誘致及び施設の利用促進に関すること</li> <li>(4) 施設の利用許可に関すること</li> <li>(5) 利用料等の収受に関すること</li> <li>(6) 情報発信事業に関すること</li> <li>(7) 施設賠償責任保険に加入すること</li> <li>(8) 利用者の安全の確保に関すること</li> <li>(9) 個人情報保護に関すること</li> <li>(10) 業務報告に関すること</li> <li>(11) その他管理運営に関し必要な業務</li> </ol>		
施設管理体制	常勤2名 パート2名 宿直パート1名		

【施設利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
R5年度	566人	470人	346人	299人	618人	288人	374人
R4年度	602人	438人	154人	301人	709人	199人	343人
比較	▲36人	+32人	+192人	▲2人	▲91人	+89人	+31人
	11月	12月	1月	2月	3月	計	
R5年度	409人	212人	163人	153人	363人	4,261人	
R4年度	484人	201人	207人	171人	350人	4,159人	
比較	▲75人	+11人	▲44人	▲18人	+13人	+102人	

【指定管理者としての収入・支出(決算)】

収入内訳	収入金額	支出内訳	支出金額
指定管理料	8,547,000	仕入高	725,043
売上高	7,512,500	人件費	8,707,678
自販機売上	213,000	水光熱費	1,736,535
利息	18	通信費	104,871
前年度売掛金	35,500	消耗品費	656,738
		修繕費	232,570
		その他経費	4,215,685
(前年度繰越金)	1,662,405	(次年度繰越金)	1,568,184
(預り金増加分)	60,281	(次年度繰越売掛金)	83,400
合計	18,030,704	合計	18,030,704

【サービス向上に向けた取り組み】

R5年度	キャッシュレス決済開始(クレジットカード決済、みきゃんアプリ決済) EV車充電器設置に向けた準備 販売品目の拡充(冷凍焼肉セット、燻製ナッツ)
R4年度	南予きずな博きずなカード特典サービス DIY工作キット販売開始 銘柄まき、まき割台販売開始 Paypay払い対応開始、

【利用者から要望と対応状況】

利用者からの苦情・要望への対応
今年度も当初より新型コロナウイルス感染症予防のため、テントサイトの隣は空けるようにし空間スペースを設けて受け入れをおこない、利用者にはおおむね好評だった。また夜間に騒がしくないよう定期巡回や注意喚起をおこない防止に努めたため苦情はほとんどなかった。今年度は例年と比べると害虫が多く(カメムシ、ムカデ、アリ、スズメバチ、モグラなど)早めに駆除剤を散布するなどの対策をとった。カメムシは特に多くこまめな駆除を心がけるとともに、利用者には説明、ご理解とご協力をいただき苦情は少なくなった。また他に要望として、施設のバリアフリー化や障がい者割引を設けてほしいとの声があった。

#### 【指定管理者の自己検証】

新型コロナウイルスによる規制がなくなるとともに、県外からの利用者も増え始め、少しずつではあるが以前のような利用形態にもどりつつある。ただ現在も消毒液の設置や各箇所の入念な消毒、またテントサイトは間隔を空けての受け入れなど継続しておこなっている。

昨今のキャンプブームも一段落し、ある一定の愛好者は定着してきている。シーズンを問わずテントサイトの利用があり、なかでもソロキャンプや女子キャンプの利用が多い。ただ平日を含め常に利用者がある状況が続くため、キャンプ場の草刈など外の作業に充てる時間が少なくなっており苦慮している。また最近はキャンプ形態の多様化にともないあまり広い場所を必要としないソロキャンプが多い反面、ファミリーやグループの利用ではテントが大型化しているためサイトに収まらないケースも増えてきており、今後はテントサイトの区画の見直しや料金の差別化などが検討課題といえる。

近年はこのようなブームの影響によりキャンプ場の新設やリニューアル化などが増加傾向にあり、ますます競合が激しくなることが予想される。今後はこれまで以上に当施設の持ち味を生かした運営が求められると考えている。

今年度からキャッシュレス決済の本格的な運用も始めていて、利用も多く売上額の約2割を占めている。ただそれにともない手数料の負担も増えてきている。

次年度は今後増えるであろうEV車に対応した充電器の設置を予定している。

#### 【施設所管課の検証・評価】

仕様書に基づき、適切に施設の管理・運営が行われている。シーズンを通してテントサイトの予約があり、愛好者もいるが、近隣市町のキャンプ場新設やリニューアルオープン等により、利用者の獲得が難しくなっていくことがあげられる。そのため、利用者のニーズを把握していき、当施設ならではの魅力を活かして利用者の獲得に取り組んでいただきたい。

さらなるメニューの開発やイベント等の実施により、魅力向上を図るとともに、SNS等を活用して、情報発信を図られたい。